

長期保管時には (4サイクルエンジン)

燃料系統からの燃料抜き

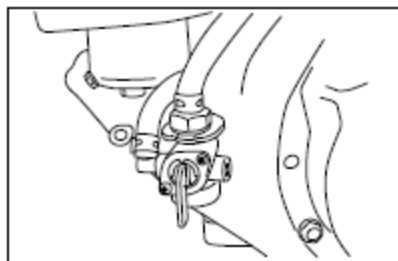
作業機 (エンジン) を30日以上保管する時には燃料タンク及びキャブレタから燃料を抜き取って、残存燃料の変質による燃料系統部品の劣化を防止してください。

警告

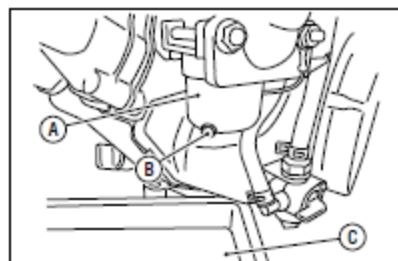
燃料 (ガソリン) は非常に引火性が強く火災、爆発の危険性があります。タバコは吸わない。付近に火花や炎がなく十分に換気されている事を確認してから燃料を抜き取ってください。

- エンジンスイッチの“○”(OFF)部を押してエンジンを停止の状態にしてください。
- 点火プラグキャップを点火プラグから外してください。

- 燃料タンク内の燃料をポンプ等を使って適当な容器へ抜き取ってください。
- もしくは、燃料タップを一旦、“閉”の位置にして、カップを取り外してください。
- 適当な容器を燃料タップの下に置き、レバーを“開”の位置にして燃料タンクから完全に燃料を抜き取ってください。
- 燃料タップにカップを組み付けてください。



- キャブレタ (A) の下に適当な容器 (C) をおき、燃料抜き取りネジ (B) を緩めて、キャブレタから燃料を完全に抜き取ります。

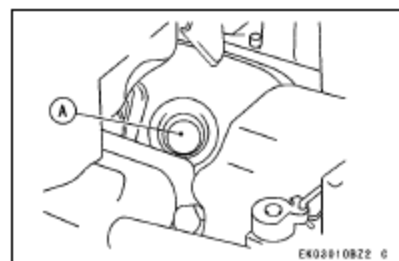


A. キャブレタ
B. 燃料抜き取りネジ
C. 容器

- 燃料抜き取り後、燃料抜き取りネジをしっかり取りつけます。

その他の整備

- 点火プラグを取り外して、点火プラグ穴 (A) から約1ccの新しいエンジンオイルを注入しその後、リコイルスタータグリップを1~2回ゆっくり引いてください。
- 点火プラグを手で仮付けしてから22N・m (2.2kgf・m) のトルクで締め付けてください。
- リコイルスタータグリップを引いて圧縮を感じる位置で止めてください。(これで吸気と排気のパルプが閉じて、エンジン内が外気と遮断された状態となって発酵を防止します。)



A. 点火プラグ穴

- 点火プラグキャップを点火プラグに確実に取り付けしてから点火プラグキャップを軽く引っ張り、点火プラグに取り付いていることを確認してください。
- 長期の保管が終わって、エンジンを再使用する前には新しいエンジンオイルと交換してください。

警告

油脂類の廃液は法令で適切な処理をおこなうことが義務づけられていますので販売店にご相談ください。